

2013年1月1日～2017年12月31日の間に当院において  
咽頭狭窄症、喉頭狭窄症、気管狭窄症の治療を受けられた方およびご家族の方へ  
「咽頭・喉頭・気管狭窄症に対する全国疫学調査」へのご協力のお願い

研究者代表者：京都大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授 大森 孝一  
当院研究責任者：福山医療センター 耳鼻咽喉・頭頸部外科 診療部長 中谷 宏章  
当院共同研究者：福山医療センター 耳鼻咽喉・頭頸部外科 医長 福島 慶  
福山医療センター 耳鼻咽喉・頭頸部外科 医師 竹内 薫

## 1. 研究の意義と目的

### 1) 研究の背景および目的

咽頭・喉頭・気管狭窄症の実態は明らかではないため、適切な診療を受けられず、病期期間が長期にわたる患者さんも少なくありません。本研究では、上気道狭窄に関する全国疫学調査を行うことにより、咽頭・喉頭・気管狭窄症に関するエビデンスを蓄積し、診療ガイドライン作成の礎とすることを目的とします。

### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

本研究の目的は、咽頭・喉頭・気管狭窄症を含む気道狭窄に関する全国疫学調査を行うことにより、その患者実態、臨床像、治療内容および経過などを明らかとし、疾患レジストリを構築することです。疾患レジストリを構築することにより、本邦における咽頭・喉頭・気管狭窄症に関するエビデンスを蓄積することが可能となり、それらを診療アルゴリズム確立、ガイドライン作成の礎とすることが期待できます。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象

2013年1月1日～2017年12月31日の間に咽頭・喉頭・気管狭窄症の診断の元、治療を受けられた方。

### 2) 実施期間

当院倫理審査委員会承認後～2022年10月31日

### 3) 研究方法

カルテから、咽頭・喉頭・気管狭窄症の原因となった疾患、臨床経過（症状、診断、治療）、年齢、性別などの患者情報を抽出し使用させていただきます。その際には、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

### 4) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後10年間、研究代表施設及び当院耳鼻咽喉・頭頸部外科で保存させていただきます。電子情報の場合はファイルにパスワードをつけて保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理審査委員会にて承認を得た後に、研究の概要及び実施について当院ホームページ等で公開します。

### 5) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

福山市沖野上町4丁目14番17号

福山医療センター 耳鼻咽喉・頭頸部外科 中谷 宏章

電話：084-922-0001（平日：8時30分～17時15分）